

城南衛生管理組合

管理者 松村 淳子 殿

2020 年度：城南衛生管理組合
環境マネジメントシステム 外部評価報告書

2020 年 12 月 22 日

外部評価員 吉田康夫、芦原昇

(文：芦原)

外部評価実施日 2020 年 12 月 21 日～22 日

外部評価実施所属・エコ・ポート長谷山 クリーン 21 長谷山 リサイクルセンター長谷山
・沢中継場 EMS 事務局

【総合評価】

以下の項目の評価により、マネジメントシステムは『組織にとって適切であり、運用は妥当であり、意図した目標に対し有効である』と判断します。

【システム運用】

1. 今回の評価は「2020 年 7 月 1 日付：城南衛生管理組合環境マネジメントシステム運用マニュアル第 3 版」に基づいて実施しました。

環境側面の抽出/環境影響評価→著しい環境側面の決定に基づいて、活動の展開(目標・維持管理・中長期計画・緊急事態その他)が行われています。順守評価、内部監査、緊急事態への準備及び対応等は適切に実施されています。

2. マネジメントレビュー

令和 2 年 5 月 25 日に専任副管理者、両部長、環境管理責任者によるマネジメントレビューが実施されました。レビューでは、内部環境監査、環境目標等の達成状況、環境関連情報及び社会的動向の変化や利害関係者からの要望、順守評価の変化等を中心に行われています。更には環境に対する歩みを止めることなく、引き続き職員の意識向上に向けての取り組みに対する、強い意気込みが示されています。

3. 専任副管理者の指示事項

マネジメントレビューに基づいた指示事項は、次のとおりです。

- ・当組合の環境マネジメントシステムについて
- ・SDGs の意識向上

- ・商品選択時の環境配慮等について
- ・コロナ後のニューノーマル

〈トップインタビュー〉

城南衛生管理組合のマネジメントシステムに関しては、職員一人一人が真面目に取り組んでいると評価されています。

その上で、システムが更に効果的になる様、SDGs等の考え方を含め、スキルアップを図ろうとされています。

また、2050年度温室効果ガスゼロに向けて、発電以外の取組を模索し、自治体として先駆者としての立場への意欲をお持ちになっています。

【主要項目の評価】

1. 計画：目標の管理

城南衛生管理組合では、目標の設定には、3つの枠組みが示されています。

「組織全体の共通目標（安心・安全な施設運営）」「各サイトごとの目標（循環型社会、低炭素社会の構築をめざす）」があります。

主として著しい環境側面から導かれた「2019年度の目標」の達成状況一覧表：組合マネジメントレビュー記録を参照ください。

2. 法的及びその他の要求事項

事務局にて作成された「環境関連法規性登録一覧表」では該当法令及び対象サイトが指定されています。対象サイトでは、「法的要求事項等一覧兼順守報告」が作成され、該当月に要求事項を実施し、記録しています。半期ごとに同報告をEMS事務局に提出し、事務局で確認しています。定期的な見直しは、毎年4月にされています。

3. 内部環境監査

直近の実施状況 2020年7月13日～20日 監査員10名(登録監査員40名)

内部監査チェックシートを使用して、きめ細かな監査を展開しています。

称賛事項：13件、要望事項16件、観察事項1件、不適合0件

審査員は自部門の審査を行わない等、監査における公平性や適切性が認められます。

称賛事項や指摘事項の内容も、抽象的なものが少なくなりました。一方仕組みの有効性に対する監査については、更に研鑽される余地を感じます。教育訓練の内容が、仕組みを担う職員の力量アップにつながっているのか、目標の進捗項目が目標改善につ

ながっているのか、所属目標が本当に組織課題になっているのか・・・等更に監査員としてのスキルを向上させてください。

4. 評価結果

(ア) 称賛事項

- エコ・ポート長谷山の、温度管理場所に推進員の写真がはられていました。『推進員が見ていますよ』のメッセージ。ユニークな取組みに、マネジメントシステムを進めようとする、推進員の意気込みを感じました。仕組みを守るのは基本、こういった活動が仕組みを支えると思います。
- クリーン 21 長谷山に関しては、コロナの渦の中、防護服を身に着けての展開検査(不適合物の抜き打ちチェック)の活動は称賛できます。また数多きデータを作成され、評価員の質問に適切にお答えになりました。今後はEMSの資料と、データが更にわかりやすくなるよう一工夫してください。
- リサイクルセンターでは、内部監査においても評価されていましたが、環境評価から組織課題の小火災防止の目標が、見事にリンクされています。目標の進捗管理も、単なる数字合わせではなく、きっちりとした分析をされています。素晴らしい取組と評価します。
- 沢中継場では課題の燃費削減に向け、折居への搬送とクリーン 21 への搬送を数字で分析され、平準化を図られたことは秀逸。他のサイトに水平展開をお願いします。
過積載の回数減の目標は、日常管理項目に移行し、現在は過積載ゼロを続けておられます。
- EMS 事務局に関しては、新運用マニュアルの 2 人目の担当者ですが、素晴らしいマニュアルに安住せず、環境側面改訂や環境にいいことしようの提案など、意欲的に取り組んでおられます。

(イ) 要望事項

- 仕組みをより有効にするために、更なる教育訓練の内容を検討して下さい。
- 環境側面の見直しは、マネジメントシステムの最大の効果的な仕組みですが、取り組み方にサイトでのばらつきがあります。一度全体研修でばらつきを修正されることをお勧めします。